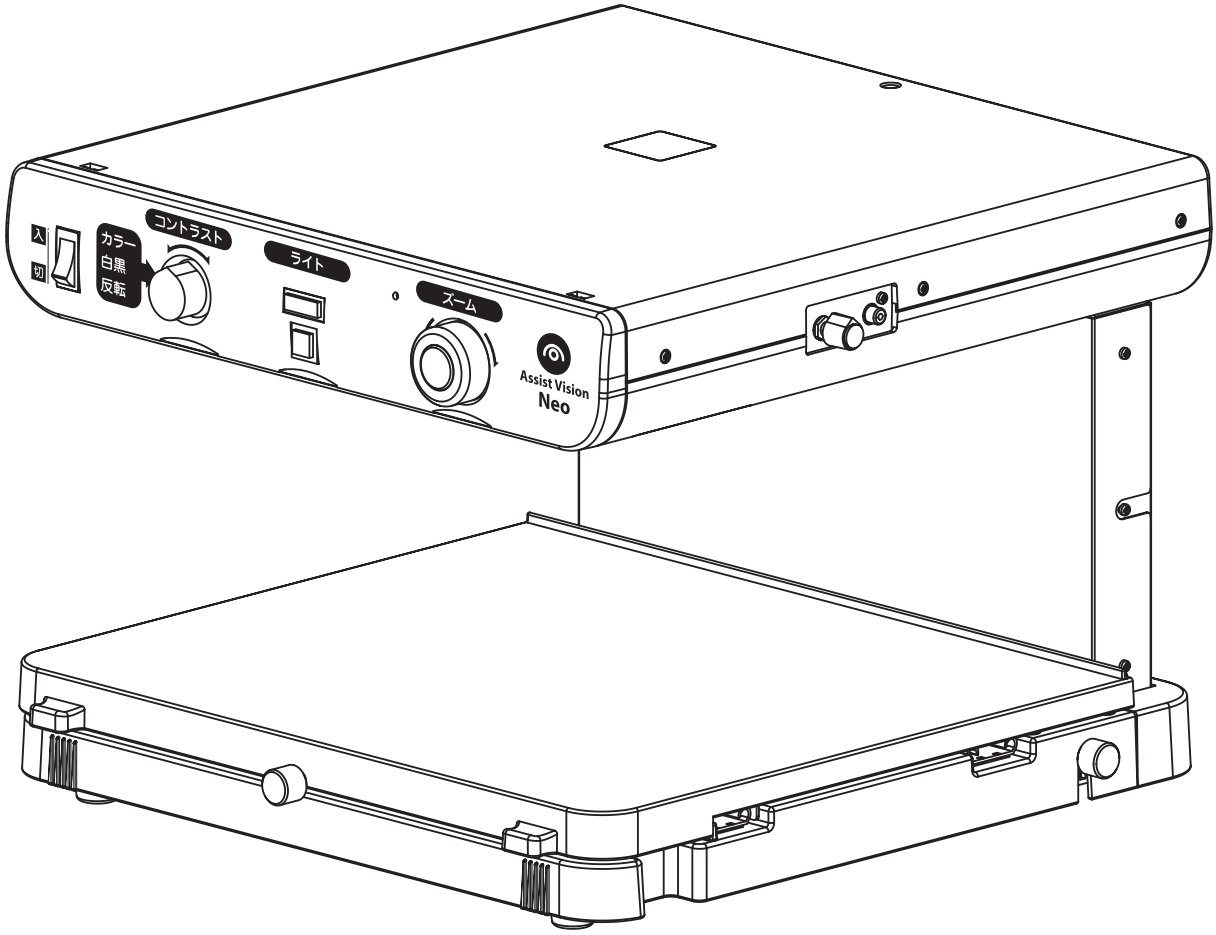
Assist Vision

アシストビジョン　ネオ

AV-100

取 扱 説 明 書



株式会社タイムズコーポレーション

この取扱説明書はリサイクル用紙を使用しています。

このたびはアシストビジョン ネオ（以下、本機と称します）をお求めいただきありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。また保存いただき、必要な時にお読み下さい。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。
製造番号（本機本体背面に表示）は、品質管理上重要なものです。本機と保証書の番号を照合させて下さい。
なお、本機と同時に使用するモニターテレビなどの取扱につきましては各製品の取扱説明書をご覧下さい。

目次

安全なご使用のために ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
本機の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
本機の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
設置と接続のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
1. モニターすべり止めシートと保持ベルトの使いかた ・・・ 13
2. ケーブルの接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2-1. テレビモニターの接続 ・・・・・・・・・・・・ 16
2-2. 電源ケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・・ 17
使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
1. 電源の入／切 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
2. 画面の調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
2-1. 画面モードの切り替え ・・・・・・・・・・・・ 19
2-2. 明るさとコントラストの調節 ・・・・・・・・・ 19
カラー画面の明るさ調節 ・・・・・・・・・・・ 19
白黒・反転画面のコントラスト調節 ・・・・・ 20
2-3. 拡大（ズーム）の調節 ・・・・・・・・・・・・ 20
2-4. 自動ピント調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
フルタイム・オートフォーカスモード ・・・・ 20
ワンタッチ・オートフォーカスモード ・・・・ 21
オートフォーカスモードの切り替え ・・・・・ 21

2-5. 照明ライトの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・ 22
照明の切り替え ・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
照明切替スイッチの便利な使いかた ・・・・・ 23
位置表示ライト ・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
位置表示ライトの使いかた ・・・・・・・・・・ 24
2-6. テーブルの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・ 25
テーブルの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・ 26
ブレーキの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・ 26
2-7. 他のビデオカメラを接続する ・・・・・・・・・・ 27
ビデオケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・ 27
入力切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
日常のお手入れについて ・・・・・・・・・・・・・・ 29
梱包材や装置の廃却、リサイクル処理について ・・ 30
故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・ 31
製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

◎「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。

◎万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。

◎故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：分解禁止 意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。

警告

本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。

本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。
火災、爆発等の原因となります。

本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。

万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。
それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。

本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50／60Hz）のみで使用する。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。

電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。
ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。

本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがする場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。
異常状態や故障状態のままで使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。

必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。
傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態で使用する。
縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。
ご使用に適した温度は0～40℃、湿度は30～80%です。

本機を直射日光の当る場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。

濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となる場合があります。

ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実に行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。

本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。

電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。

本機の上部には質量28kgを超え、かつ21インチサイズを超えるモニターテレビを積載しない。転倒や落下などによる事故の原因となる場合があります。

本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。
特に小さなお子様のいる環境ではご注意下さい。

テーブル移動用のレールには手を触れない。挟まれて事故の原因となる場合があります。

本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。
転倒による事故の原因となる場合があります。

本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。

本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。

本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。

清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。

購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。

本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。

本機の概要

（１）本機はテレビカメラとレンズなどを用いたカラー拡大読書器です。本機のテーブル上に置かれた被写体をモニターテレビの画面上に拡大して表示します。

（２）本機と同時に使用するモニターテレビは、ビデオ入力端子のあるカラーテレビであればそのままご利用頂けます。
本機の上部には21インチサイズ以下で28kg以下のモニターテレビが乗せられます。

（３）被写体のピント調整は、フルタイム自動調節とボタンによる自動調整の２通りです。拡大サイズの調整、カラー画面の明るさの調整はツマミの操作にて行います。

（４）カラー映像を白黒の映像に表示する白黒切換機能、白黒画面の明暗を反転する反転機能とこれらの映像のコントラストを調節するコントラスト調節機能を備えています。

（５）左右二つの照明を個別に点灯、消灯する照明の切替機能を備えています。

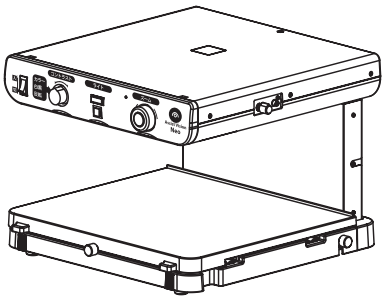
（６）およその撮影位置をテーブル上に表示する位置表示ライトを備えています。

（７）本機の移動時などにテーブルの作動を止めるブレーキを有しています。

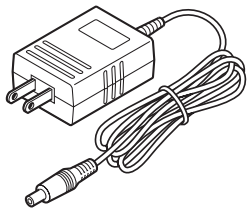
本機の構成

お求めいただいた際、最初に内容物をご確認下さい。下記の構成から万が一足りないものがある場合や違うものが含まれていましたらお求めいただきました販売店又は弊社までご連絡下さい。

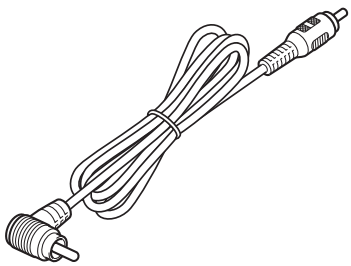
（１）本体（1台）
（２）ACアダプタ（1個）
（３）ビデオケーブル（1本）
（４）モニター保持ベルト（1本）
（５）モニターすべり止めシート（4枚）
（６）取扱説明書（1冊、冊子1枚）
（７）保証書（1部）



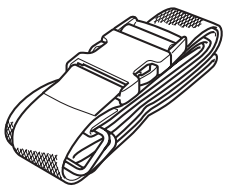
（１）本体



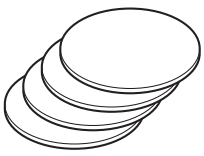
（２）ACアダプタ



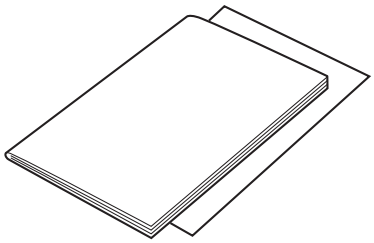
（３）ビデオケーブル



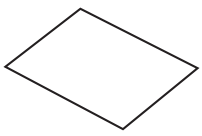
（４）モニター保持ベルト



（５）モニターすべり止めシート

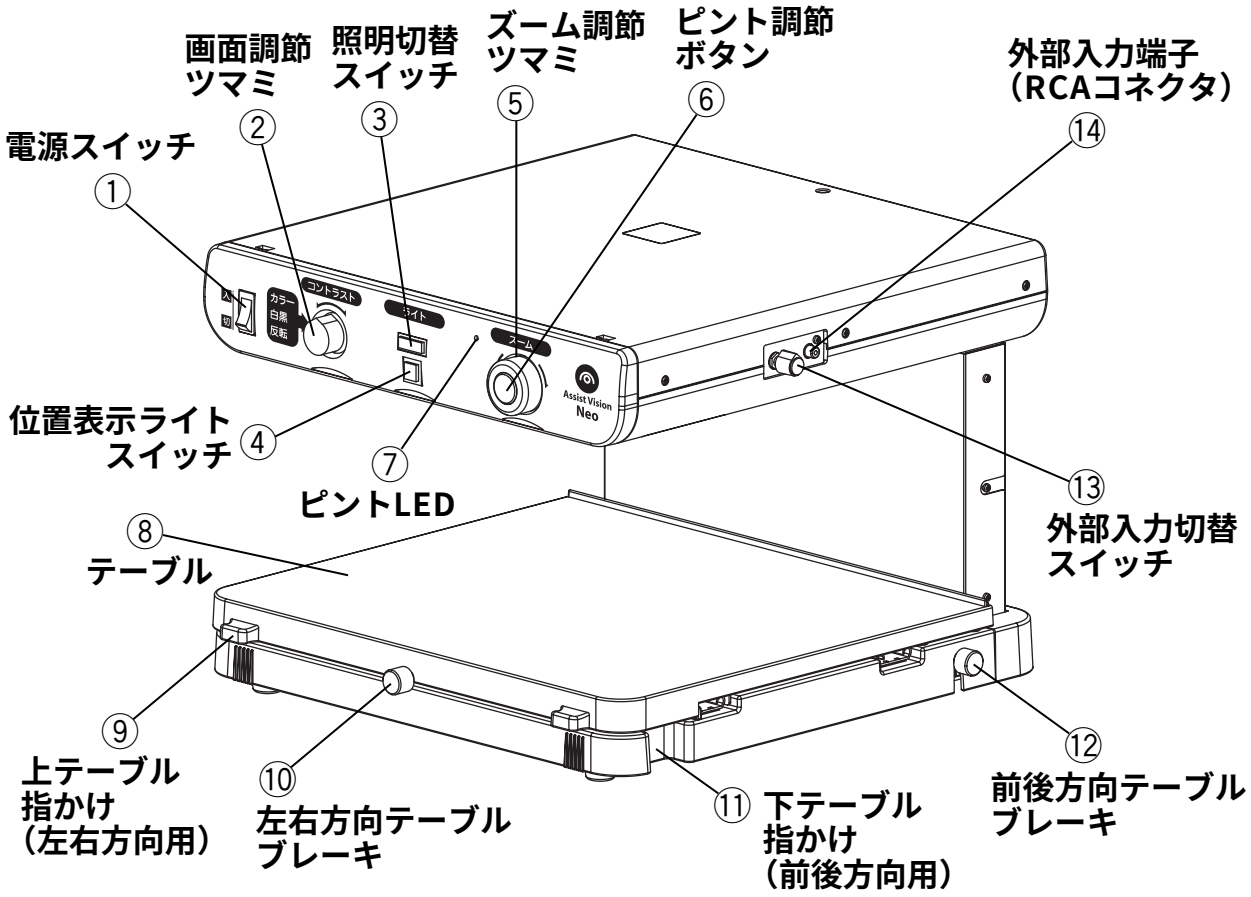


（６）取扱説明書

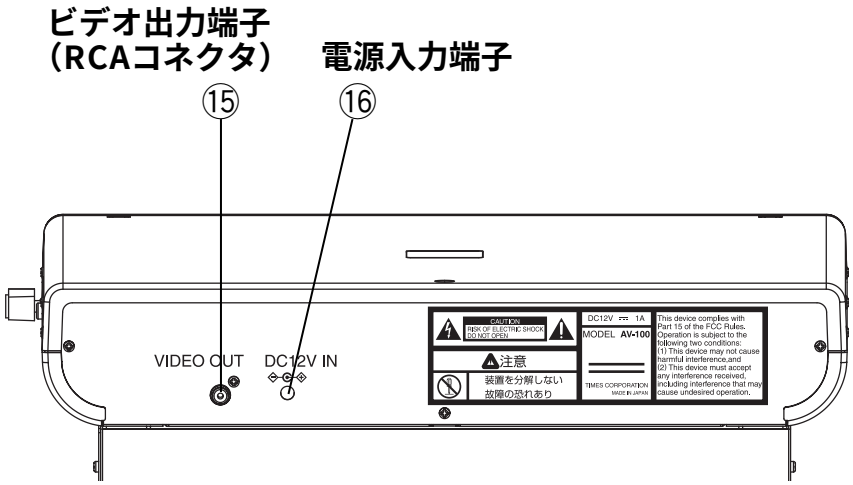


（７）保証書

各部の名称



（本機前面）



（本機背面）

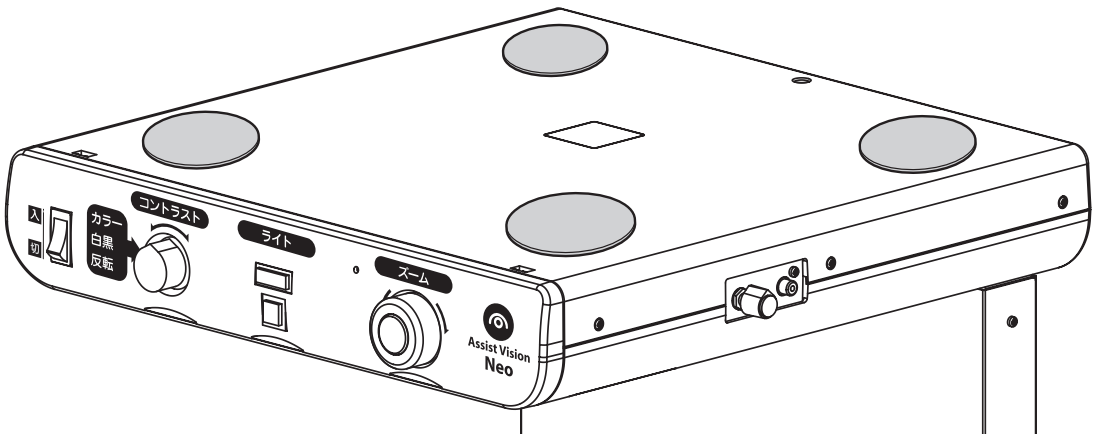
設置と接続のしかた

本体をしっかりと安定した机や台の上に置いて下さい。
つぎにモニターすべり止めシートを本機の天板に貼り付け、モニターテレビの落下事故や転倒事故を防止するための保持ベルトを取り付けて下さい。
最後に本機にモニターテレビを乗せ、保持ベルトのバックルを繋いでしっかりと締めつけて下さい。

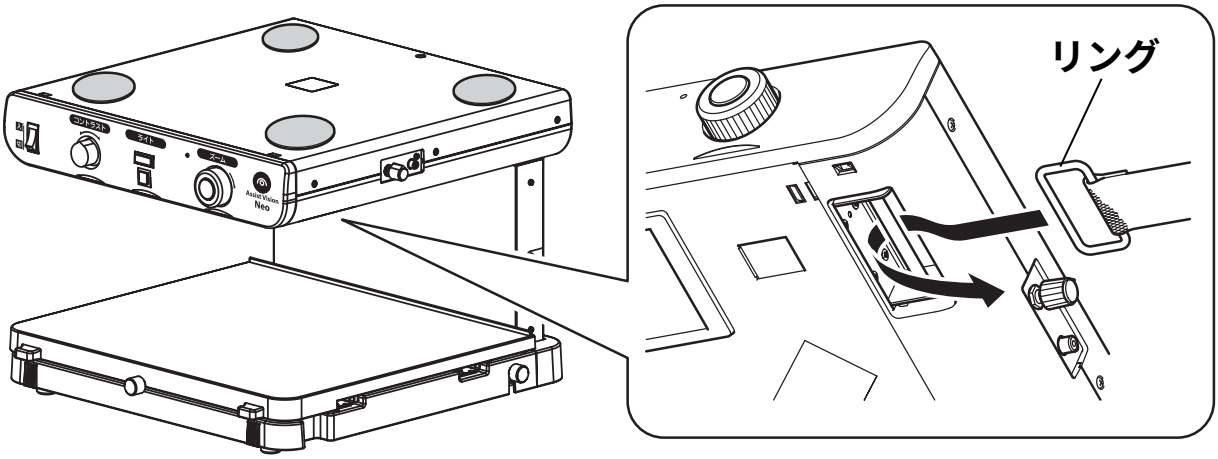
1. モニターすべり止めシートと保持ベルトの使いかた

モニター保持ベルトを使用し、本機に積載するモニターテレビが容易に転倒しないようにします。

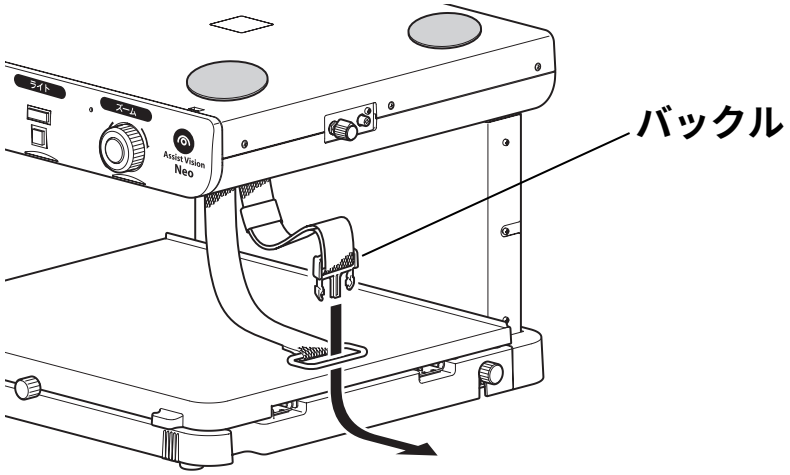
1 最初にモニターテレビの底面を確認し、モニターテレビの底面と本機の上カバーとが接触するおよその位置にモニターすべり止めシート（5）を貼り付けます。



2　モニター保持ベルト（4）のバックルを外し、図のように金属製のリングを本機のベルト取り付け部の支柱を巻くように通します。左右ともに行います。

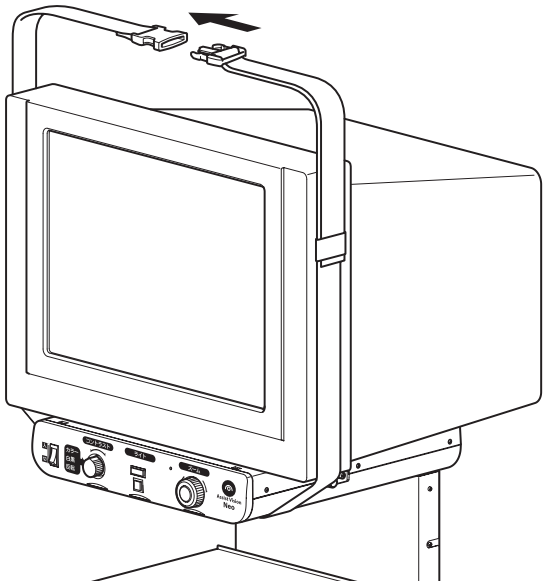


3　モニター保持ベルト（4）のバックルを金属性のリングに通したのちにバンドを軽く引っ張り、バンドと本機が結ばれたことを確認します。



4 モニターテレビを本機に乗せます。
モニターすべり止めシート（5）の上にモニターテレビが置かれていることを確認して下さい。

5 モニターテレビの上部でモニター保持ベルト（4）のバックルを繋ぎます。



6 ベルトの長さを調節し、モニターテレビが容易に動かなくなったことを確認します。

ご注意

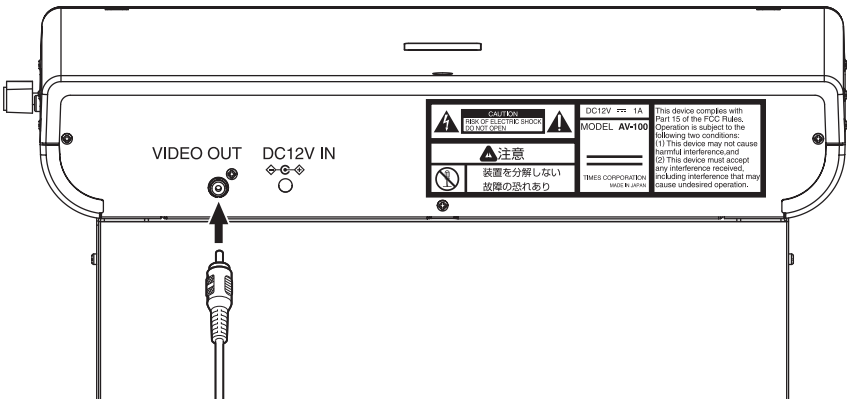
このベルトはモニターテレビの転倒防止を保証するものではなく、あくまでも補助でしかありません。普段よりモニターテレビにもたれたり、モニターテレビに手をかけて立ちあがったりすることのないようにご注意下さい。

2. ケーブルの接続方法

本機とモニターテレビをビデオケーブル（３）で接続し、次にACアダプタ（２）をコンセントに接続します。
接続を始める前に、モニターテレビと本機の電源が入っていない（電源スイッチ１が上側に倒れていない）ことを確認して下さい。

2–1. テレビモニターの接続

付属のビデオケーブル（３）にて、本機のビデオ出力端子（RCAコネクタ）⑮とモニターテレビのビデオ入力端子と接続します。



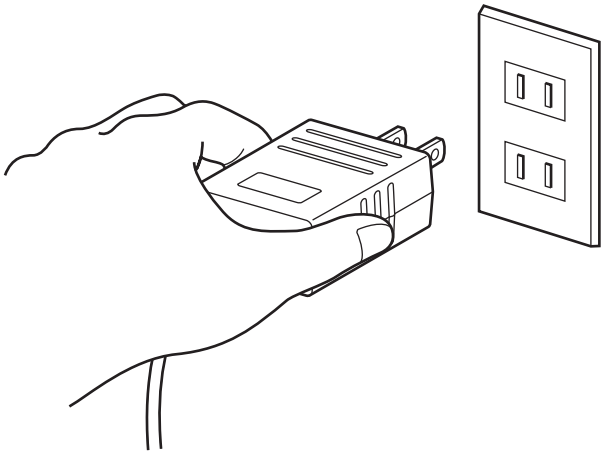
メ モ

モニターテレビのビデオ入力端子については、モニターテレビに付属の説明書をご覧下さい。

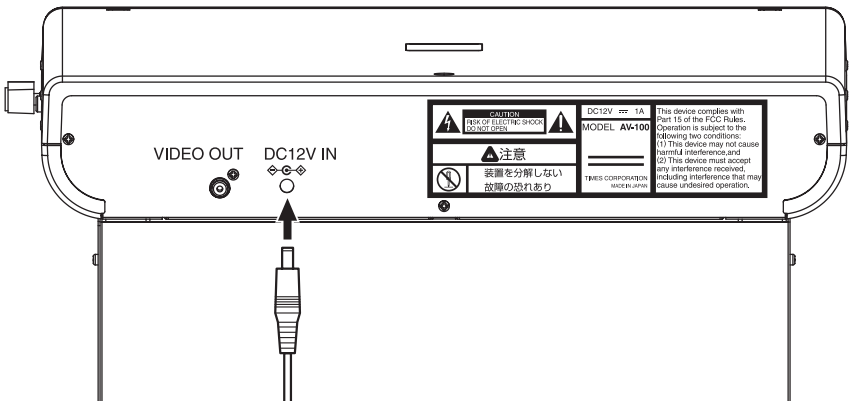
2–2. 電源ケーブルの接続

付属のACアダプタ（2）と接続します。付属のACアダプタ以外は接続しないで下さい。

1 付属のACアダプタ（2）をコンセントに接続します。



2 ACアダプタ（2）のケーブル側プラグを本機の電源入力端子⑯に接続します。



メ モ

電源の投入は上記の接続が正しく行われていることを確認した後に行って下さい。また、モニターテレビの電源の投入、ビデオ画面の選択方法はモニターテレビの取扱説明書をご覧下さい。

使いかた

1. 電源の入／切

電源スイッチ①で本機の電源を「入」「切」します。電源が入っている時は本機正面の青色インジケータが点灯します。電源はケーブル類が正しく接続されていることを確認した後に入れて下さい。

ご注意

電源を入れた直後に電源を切ったり、電源を切った直後に再び電源を入れると誤動作の原因となりますので、これらの操作は約5秒程度の間隔を空けて行って下さい。

2. 画面の調節

2–1. 画面モードの切り替え

本機は映像をカラー／白黒／反転表示に切り替えることができます。画面調節ツマミ②を押すとカラー→白黒→反転→カラーの順に繰り返し切り替わります。

2–2. 明るさとコントラストの調節

<u>カラー画面の明るさ調節</u>

カラー画面の時に画面調節ツマミ②を左右に回すと画面の明るさがゆっくりと変化します。時計方向に回すと明るく、反時計方向に回すと暗くなります。画面の明るさの変化に合わせてツマミを回して下さい。

白黒・反転画面のコントラスト調節

白黒画面または反転画面の時に画面調節ツマミ②を左右に回すとコントラストが変化します。

2–3. 拡大（ズーム）調節

このズーム調節ツマミ⑤で画面表示の大きさを調節します。ツマミを右に回すと拡大表示、左に回すと縮小表示されます。低倍率域ではツマミを回す角度でズームスピードを調節することができます。高倍率域では、ズームスピードが一定になります。

メ モ

最大倍率では電子ズームによる拡大表示のため、画質が悪くなる場合がありますが故障ではありません。

2–4. 自動ピント調節

フルタイム・オートフォーカスモード

正面パネルのほぼ中央にあるオレンジ色のピントLED⑦がいつも点灯している状態のとき、本機は内臓カメラの真下にあるものに対して、常に自動ピント調節をしております。

ワンタッチ・オートフォーカスモード

ピント調節ボタン⑥を1回押すと自動的にピントを調節します。調節動作中はピントLED⑦（黄色）が点滅し、動作が終わると消灯します。
またズーム調節ツマミ⑤を時計方向に操作した後に手を離したときにも、自動でピント調節を行います。

メ モ

数回押してもピントが合わない場合には、画面サイズを少し縮小してから再度ピント調節を行って下さい。

オートフォーカスモードの切り替え

出荷時はフルタイム・オートフォーカス・モードに設定されています。
モードを切り替えるときは、電源スイッチを切り、約5秒待って、ピント調節ボタン⑥を押したまま電源スイッチ①を入れ、ピントLED⑦が点滅するまで押しつづけて下さい。

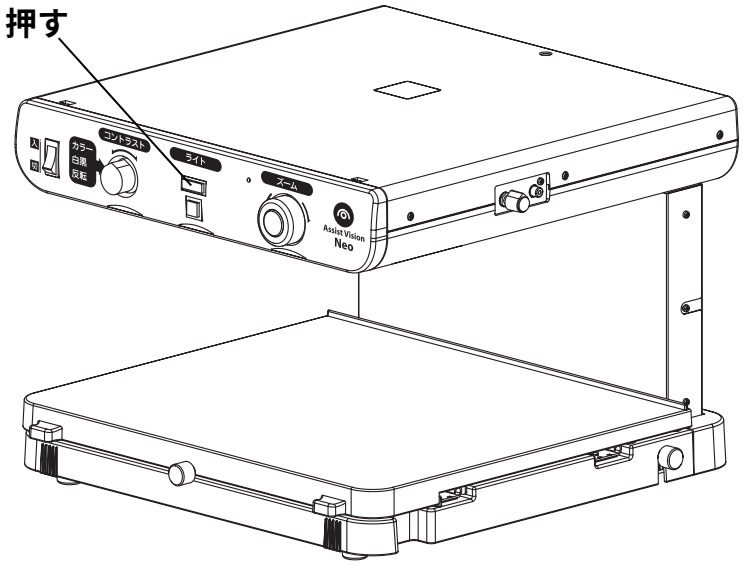
通常の方法で電源を切った場合は、前回と同じモードが保持されます。

2–5. 照明ライトの使いかた

照明の切り替え

本機には、上部本体の左右に2箇所の照明（白色LED）があります。

この照明切替スイッチ③を押して、点灯する照明を切り替えることができます。



左右の照明が両方点灯している状態からスイッチを押すと順に、左点灯・右消灯→左消灯・右点灯→両方消灯→両方点灯の順に繰り返し照明が点灯消灯します。

照明は位置表示用ライトが点灯している際には消灯し、これらの機能は働きません。

ご注意

照明が全て消えている状態では、カラー画面の明るさ調節機能は作動しません。また、周囲が暗い場合には本機の機能が正常に作動しない場合があります。

照明切替スイッチの便利な使いかた

白黒／反転画面にて筆記を行う際に、手や筆記具の影が文字を見えづらくすることがあるかもしれません。その際には筆記具を持つ手の側の照明を消灯させることで影が軽減されることがあります。

○右利きの方の場合：
照明が左右点灯している状態からスイッチを1回押して下さい。

○左利きの方の場合：
照明が左右点灯している状態からスイッチを2回押して下さい。

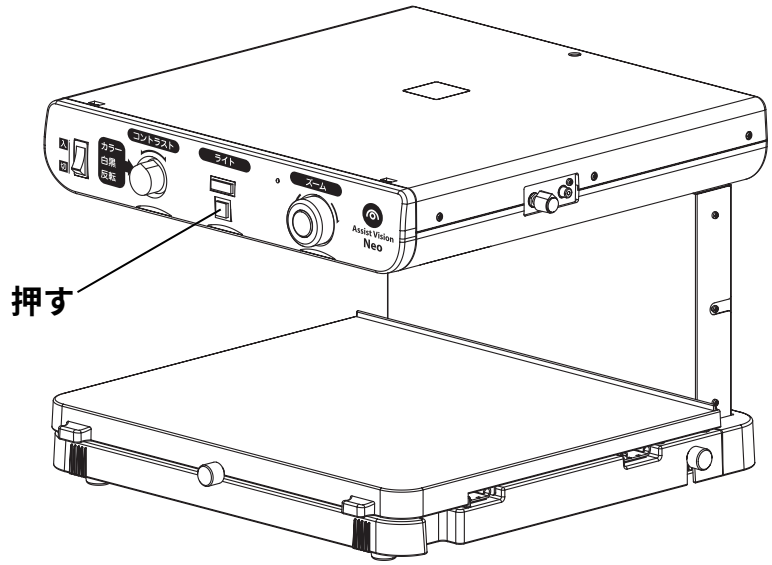
スイッチを順次押すことで照明の点滅が繰り返し変化します。

また、光沢のあるものを見るときに、ライトの反射光が画面に映り込むことがあれば、照明を消すことで画面が見やすくなることがあります。

位置表示ライト

本機の位置表示機能は、いまどこを映しているのか簡単に示すことができます。

位置表示ライトスイッチ④を押すと、今カメラが撮っている位置付近をオレンジ色のLEDが照らします。このとき他の照明は消えます。再度押すと位置表示ライトは消灯し、照明が点灯します。



位置表示ライトの使いかた

拡大表示している場合には、被写体のどこを撮影しているかが分かりづらくなる場合があります。また、読みたい場所を表示させにくいこともあります。その際には位置表示ライトを点灯させて、位置表示ライトが示すおよその位置に被写体の表示させたい位置を移動させてご利用下さい。

ご注意

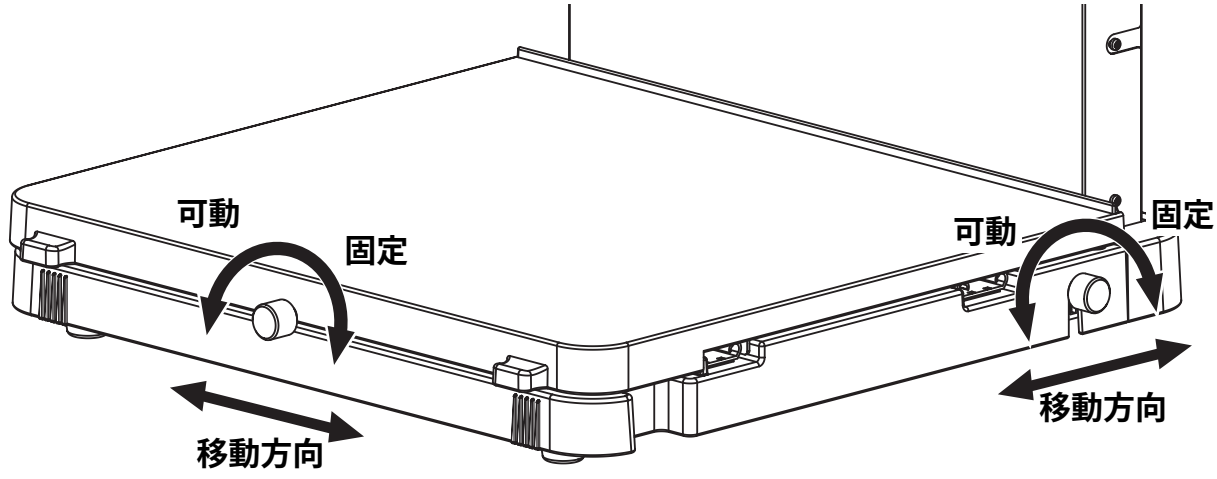
ページ数の多い書物（辞書、電話帳など）や立体物（薬箱、缶詰）を表示させたい場合、被写体上でライトが示している位置と撮影位置と多少がずれる場合があります。また、位置表示ライトが点灯している間は、画面は正常な色調で表示されません。

2–6. テーブルの使いかた

テーブル⑧は、見たい資料を置いて、前後方向または左右方向に滑らかに動かすことができ、読書や筆記が容易になります。

出荷時には、左右方向テーブルブレーキ⑩と前後方向テーブルブレーキ⑫がテーブルの動きを固定してあります。テーブル固定用ブレーキは、テーブルの前面の中央と右側面の後ろ寄りにあります。

どちらもツマミを反時計方向に回すとテーブルが動くようになります。



テーブルの使いかた

テーブルを左右に移動させる場合は上テーブル指かけ⑨（左右方向用）を持って行います。このツマミは上テーブルの前面の左右にあります。
テーブルを前後に移動させる場合はこの下テーブル指かけ⑪（前後方向用）を持って行います。このツマミは下テーブルの左右側面の前側にあります。

ブレーキの使いかた

本機を移動する場合やお手入れの際には、本機のテーブルが動かないように、2ヵ所のテーブル固定用ブレーキでテーブルを固定します。

メ モ

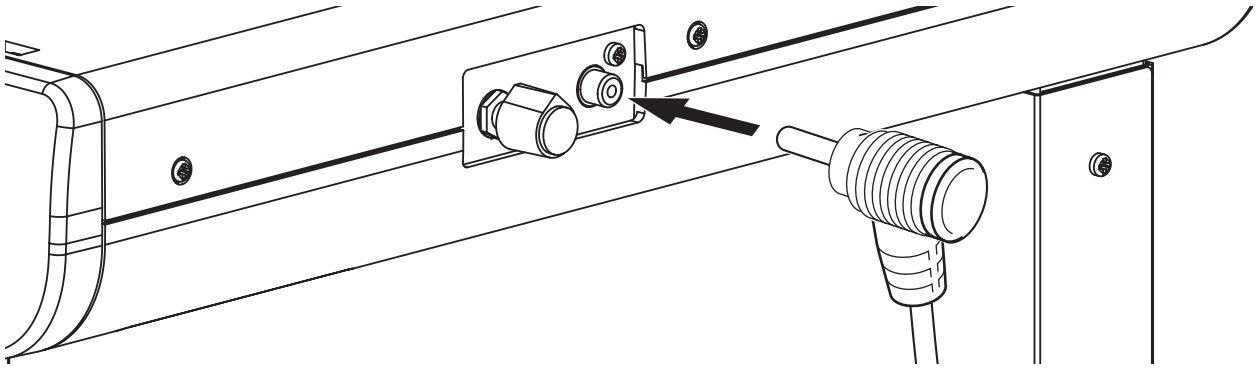
通常お使いの場合は、ブレーキをゆるめてご使用下さい。

2–7. 他のビデオカメラを接続する

市販のビデオカメラを接続して、遠くを見たり、テーブルに載らない大きなものを見たりすることができます。

ビデオケーブルの接続

他のビデオカメラの映像信号を本機の外部入力端子⑭（RCAコネクタ）に接続します。



メ モ

本機にはこの接続用のケーブルは付属していません。

入力切替

外部入力切替スイッチ⑬で外部よりのビデオ映像と本機の映像とを切り替えます。

外部入力切替スイッチ⑬を手前に回すと本機の映像、奥へ回すと他のビデオカメラを接続したときに外部ビデオ映像が表示されます。

外部ビデオ映像が選択されている時に、画面調節ツマミ②の機能のうち、画面切換機能とコントラスト調節機能が利用できます。

メモ

外部入力切替スイッチ⑬を奥に回したときに、他のビデオカメラを接続してない場合や他のビデオカメラから映像信号が入ってこないときは、画面には何も映りません。

日常のお手入れについて

◎本機の汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めたものを柔らかい布に浸し、きつく絞ってから軽く拭いて汚れを取って下さい。

◎清掃にはシンナーやベンジン、アルコールを使用しないで下さい。塗装が剥げたり、材質が変質することがあります。

◎定期的に電源ケーブルやビデオケーブル、コンセントの差し込み部分を清掃して下さい。

◎1つのコンセントに多数の電源ケーブルを接続（タコ足配線）しないようご注意下さい。

梱包材や装置の廃棄、リサイクル処理について

装置をご利用頂く際に不要となる梱包材を廃棄する場合や、不要となり装置を廃却する場合は、地方自治体にて定められている法律や条例、若しくは事業所で定められている産業廃棄物処理方法に従った処理を行って下さい。

本機の構成品についておよその分類は次のようになります。

本体 …… 不燃物
ACアダプタ …… 不燃物
ケーブル類 …… 不燃物
モニター保持バンド …… 不燃物
取扱説明書、保証書 …… 紙
梱包箱 …… 段ボール
ポリ袋 …… プラスチック

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、以下の点をご確認下さい。

状　態	対　処
電源が入らない	・ ACアダプタ、電源ケーブルの接続をご確認下さい。 ・ 電源スイッチをご確認下さい。
映像が表示されない	・ モニターテレビの電源が入るかどうかご確認下さい。 ・ モニターテレビのビデオモード（チャンネル）が選択されているかご確認下さい。 ・ ビデオケーブルがきちんと接続されているかご確認下さい。 ・ 本機の右側面の映像切換スイッチが手前に回った状態であるかご確認下さい。
機能が正常に動作しない	一度本機の電源を入れなおして下さい。

※ 上記の内容をご確認頂いたうえで、なお異常があるときはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、ビデオケーブルを抜いた後に弊社にご連絡下さい。

補修用性能部品について

当社では製品の補修用性能部品（本機の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後8年間保有しています。この部品保有期間を修理が可能な期間とさせて頂きます。

製品仕様

撮像素子	: 1/4インチカラーCCD
総画素数	: 約40万画素
水平解像度	: 400TV本以上
Ｓ／Ｎ比	: 46dB以上
ホワイトバランス	: 自動
映像出力	: VBS1.0V（p-p）75Ω不平衡 RCAコネクタ×1系統
映像入力	: VBS1.0V（p-p）75Ω不平衡 : RCAコネクタ×1系統
ズーム比	: 最大約24倍 （光学約12倍、電子約2倍）
フォーカス操作	: 自動又はワンプッシュ方式
ズーム操作	: 電動
絞り	: 自動又は固定
画面切替	: カラー／白黒／反転　選択可能
画面輝度調整	: カラー時　調節可能
コントラスト調整	: 白黒／反転時　調節可能
照明	: 有り（白色LED×2ヵ所）
インジケータ	: 有り（オレンジ色LED）
テーブル可動範囲	: 前後方向　約260mm、 左右方向　420mm
表示倍率	: 約2倍 ～ 約50倍 （14インチサイズモニタ）

撮影可能な被写体厚さ	: 約80mm
積載可能なモニターテレビ	: 21インチサイズ以下、かつ28kg以下
電源	: DC12V （専用ACアダプタより供給）
消費電力	: 約12W
外形寸法	: 幅423mm、高さ323mm、 奥行き430mm（突起部含まず）
質量	: 約14.5kg
付属品	: ACアダプタ 1個 ビデオケーブル 1本 モニター保持ベルト 1本 モニターすべり止めシート 4枚 取扱説明書 1冊 簡単マニュアル 1枚 保証書 1部

※ 仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

お問い合わせ先

本機のお問い合わせや修理に関しましては販売店若しくは下記までご連絡下さい。

株式会社　タイムズコーポレーション
URL　http://www.times.ne.jp
〒665-0051
兵庫県宝塚市高司1丁目6番11号
電話：0797-74-2206
フリーダイアル：0120-886610

拡大読書器でお読みください

拡大読書器の機能を上手に使うヒント

【読書のヒント】

ヒント１　大きく拡大してみましょう

なんという文字かわかりにくいほど小さな文字を読むよりも、十分に大きく拡大したほうが読書が楽に感じる人が多くおられます。
注）視野が狭い方は、視野の中で見やすい大きさに調節してください。

ヒント２　白黒、反転の画面とコントラスト調節を利用しましょう

くっきりと見やすい画面に調整してください。

ヒント３　テーブルを上手に使いましょう

3-1 テーブルに、見たいものをまっすぐに置きましょう
テーブルを動かして文を読むときに、行が画面から外れなくなります。
※本をテーブルの奥のヘリに当てるとまっすぐに置くことが容易になります。

3-2 テーブルをスムーズに動かしましょう
上テーブル前面の左右の指かけ部と下テーブル側面の左右の指かけ部を両手で持って、一方向に一定のスピードで動かしてください。
左右に動かすときは上テーブル、前後に動かすときには下テーブルと持ち変えることがコツです。

ヒント４　視野を上手に使いましょう

視野が上手く使えるように、見えやすい角度に顔を向けましょう
そのとき目を動かさずに、テーブルを動かして文字を視野に流れ込ませるように読む方法があります。
また、そのときに目を動かすことも組み合わせて読み進める方法もあります。
自分にあった方法を試してください。

ヒント５　文字を見るのではなく読むことに集中しましょう

読書では、文字の細かな部分のカタチに注意するよりも、なんという文字か判読し文を読むことに集中しましょう。

【筆記のヒント】

ヒント１　どこに書くか決めましょう

拡大読書器のテーブルに置いた用紙とペン先を画面に映して、どこに書くのか決めましょう。
※アシストビジョン　ネオには、位置表示ライトが装備されていますので、位置決めが簡単です。

ヒント２　大きさを決めましょう

用紙とペン先を画面に映して、ペン先を用紙の上でどのくらい動かすのが適当か確かめましょう。

ヒント３　よく見ながら書く？それともぼんやり見て書く？

画面をよく見ながら書く方法とあまり画面を見ずに（ぼんやり見て、内容に集中しながら）書く方法があります。自分にあった方法を試してください。

この取扱説明書の内容は改良などのため予告なく変更することがあります。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

6X1KDH001
Printed in Japan